

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和6（2024）年度

施設名	とちぎ健康づくりセンター・とちぎ生きがいくりセンター
施設所管課	保健福祉部保健福祉課、高齢対策課、健康増進課
指定管理者	社会福祉法人とちぎ健康福祉協会（法人番号2060005000772）
指定期間	令和6（2024）年4月1日～令和16（2034）年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	宇都宮市駒生町3337-1	栃木市神田町9-40	矢板市矢板54
施設の概要	とちぎ健康づくりセンター・とちぎ生きがいくりセンター	とちぎ生きがいくりセンター県南支所	とちぎ生きがいくりセンター県北支所
	①敷地面積：196,190㎡ ②建物面積 本館：22,976㎡ 車庫棟：1,767㎡ 陶芸教室棟：459㎡ ③施設 （とちぎ健康づくりセンター） 温水プール、多目的運動フロア、会議室、トレーニング室、エアロビクススタジオ、ランニングデッキ、栄養指導室 （とちぎ生きがいくりセンター） 講堂、教室、演習室、和室、多目的ホール、テニスコート、陶芸棟	①敷地面積：4,700㎡ ②建物面積 本館：1,315㎡ 講堂兼体育館：583㎡ ③施設 図書・情報コーナー、講堂兼体育館、教室、演習室、和室、屋外運動場	①敷地面積：5,300㎡ ②建物面積 本館：1,552㎡ 多目的ホール：298㎡ ③施設 情報提供コーナー、多目的ホール、教室、演習室、和室
業務内容	①とちぎ健康づくりセンター ・センターの施設の維持管理に関すること ・センターの利用に係る事務（有料施設などの利用の許可に関するものを含む。）に関すること ・センターの運営に関すること ②とちぎ生きがいくりセンター（支所を含む） ・センターの施設の維持管理に関すること ・センターの施設使用料の徴収などに関すること ・センターの運営に関すること ③とちぎ健康の森全体管理 ・とちぎ健康の森の敷地の全体管理に関すること		

2 収支の状況

令和6（2024）年度  
（千円）

収入			支出		
指定管理 ※2	指定管理料	543,978	指定管理 ※2	事業費	40,543
	利用料金収入	58,737		管理運営費	367,900
	その他収入※1	35,202		人件費	187,200
	合計	637,917		その他支出※1	21,362
指定管理業務収支差額①		20,912	自主事業		2,891
自主事業		3,291	自主事業収支差額②		400
自主事業収支差額②		400	収支差額（①+②）		21,312
収支差額（①+②）		21,312			

備考（※ 1 その他収入の主なものを記載） 水道光熱費弁償金 22,297千円	備考（※ 1 その他支出の主なものを記載） 租税公課（消費税・法人税他） 21,362千円
--	--

※ 2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和 5（2023）年度（前年度）

（千円）

収入			支出		
指定管理 ※ 2	指定管理料	489,900	指定管理 ※ 2	事業費	40,899
	利用料金収入	59,203		管理運営費	342,269
	その他収入※ 1	59,935		人件費	159,995
				その他支出※ 1	18,029
	合計	609,038		合計	561,192
指定管理業務収支差額①					
自主事業			自主事業		
自主事業収支差額②					
収支差額（①＋②）					
備考（※ 1 その他収入の主なものを記載） 水道光熱費など弁償金 23,756千円			備考（※ 1 その他支出の主なものを記載） 租税公課支出 18,029千円		

※ 2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

### 3 利用状況

施設名	項目	令和 5（2023）年度 （前年度）	令和 6（2024）年度
とちぎ健康づくりセンター	施設利用講習	1,936人	1,595人
	体力測定	252人	180人
	健康づくり講座	1,057人	1,319人
	集団指導	12,713人	14,269人
	健康づくり相談	2,896人	2,635人
	プール・トレーニングルーム・ランニングデッキ	63,975人	59,639人
	運動フロア	879時間	684時間
	エアロビクススタジオ	1,379時間	821時間
	大会議室	1,141時間	1,020時間
	小会議室	815時間	856時間
	多目的フロア	925時間	1,148時間
とちぎ生きがいきづくりセンター	テニスコート	3,094時間	2,864時間
	講堂	376時間	177時間
	教室	1,202時間	1,526時間
	演習室	620時間	810時間
	和室	72時間	62時間
	多目的ホール	300時間	445時間
とちぎ生きがいきづくりセンター県南支所	講堂兼体育館	2時間	0時間
	教室	639時間	650時間
	演習室	0時間	0時間
	和室	270時間	249時間
	屋外運動場	0時間	0時間
とちぎ生きがいきづくりセンター県北支所	多目的ホール	128時間	140時間
	教室	878時間	1,003時間
	演習室	106時間	109時間
	和室	65時間	28時間

#### 4 サービス向上に向けた取組

(全般)

- ・フリースペースの開放や敷地内ウォーキングコースへの健康器具設置など、施設利用環境の整備

(とちぎ健康づくりセンター)

- ・利用者への適正な施設利用指導、ハイリスク者等への見守り体制の強化、毎月1回「施設整備日」における運動施設の点検など安全な運動施設利用の提供
- ・医師や保健師等による健康相談や「健康情報提供コーナー」等における健康づくりに関する情報発信
- ・働く世代の健康づくりを応援するため、企業や団体向けの「利用チケット制度」の導入及び体力測定や健康づくり講座等の実施・提案
- ・利用者の人権に配慮し、分け隔てなく適切に対応するなど職員等によるサービスの向上
- ・プール・トレーニング室のリアルタイムの混雑状況をホームページやLINE公式アカウントから確認できる情報発信
- ・プール・トレーニング室の施設利用回数券やオリジナルグッズが当たる利用促進キャンペーンの実施
- ・利用者の利便性向上のため、キャッシュレス決済機能搭載の券売機を設置
- ・LGBTQなど多様な利用者を受け入れるため、プール・トレーニング室に誰でも利用可能な更衣室やロッカーを設置
- ・施設全体の利用促進に繋げるため、健康づくり体験や特別レッスン等を行うイベント「健康づくりDay2024」の開催
- ・「とちぎ健康の森本館空調設備改修工事」の実施に伴う施設休館中、ウォーキングコースの利用者を対象に、運動実践指導員によるウォーキング指導を無料で複数回実施

(とちぎ生きがいつくりセンター)

- ・地域課題や社会状況に応じた学習内容とするほか、実体験を伴う学習機会の提供

#### 5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法

(とちぎ健康づくりセンター)

- ・とちぎ健康づくりセンター利用者を対象としたアンケートの実施による把握

##### ① 調査年月

##### (1) 貸出施設等

- ア 令和6(2024)年9月24日～同年10月7日(14日間)
- イ 令和7(2025)年3月18日～同年3月31日(14日間)

##### (2) プール・トレーニング室等運動施設

- ア 令和6(2024)年10月1日～同年10月6日(6日間)
- イ 令和7(2025)年3月18日～同年3月23日(6日間)

##### ② 調査対象者 会議室等利用の代表者とプール等の運動施設利用者ごとに、設問の内容を一部変えて実施した。

##### ③ 調査方法 アンケート用紙配布による調査(回答者数 692名 回収率 42.14%)

利用者意見箱「お客様の声」の設置  
電話、口頭、メール等による意見等の受付

##### ④ 調査結果 施設の貸出及び利用サービスについて、「とても満足」及び「満足」と答えた人は、アの期間では82.5%、イの期間では86.0%を占めている。また、プール・トレーニング室等運動施設については、アの期間では80.8%、イの期間では82.0%と、昨年度同様、満足度は高水準を維持している。

当施設を選んだ理由としては、貸出施設では「交通の便」、「利用環境」、「料金」、プール・トレーニング室等運動施設では「利用環境」、「職員の対応」、「利用方法」、「駐車場」が評価されている。

(とちぎ生きがいつくりセンター)

<p>・シルバー大学校学生を対象とした授業内容に関するアンケートの実施による把握</p> <p>① 調査年月 令和6(2024)年4月～同年9月、令和6(2024)年10月～令和7(2025)年3月</p> <p>② 調査対象者 第44期生(1年次)394名、第43期生(2年次)364名 第45期生(1年次)426名、第44期生(2年次)383名</p> <p>③ 調査方法 アンケート用紙配布による調査(回答者数 延べ1,311名、回答率 83.7%)</p> <p>④ 調査結果 授業内容の理解度・満足度について「よくできた」、「できた」と答えた人の割合は70%を越えており、昨年度同様、カリキュラムに概ね満足していることがうかがえる。</p> <p>・シルバー大学校入学生を対象とした入学動機等に関するアンケートの実施による把握</p> <p>① 調査年月 令和7(2025)年3月～同年4月</p> <p>② 調査対象者 第45期生(1年次)411名</p> <p>③ 調査方法 アンケート用紙配布による調査(回答者数 398名、回答率 96.8%)</p> <p>④ 調査結果 シルバー大学校に入学したことに「満足」、「やや満足」と答えた人の割合は全体の87%だった。シルバー大学校を知ったきっかけとして、友人・知人(在校生・卒業生)の紹介が43%を占めており、また入学者自身も、友人や知人に勧めたいと答えた人の割合は全体の95%だったことから、学生によるPRがシルバー大学校の認知度向上に大きく寄与していることが分かった。</p>	
主な利用者意見(苦情・要望)	対 応
<p>(会議室など貸出施設)</p> <p>・利用前日に申込みができると良い。</p> <p>(プール・トレーニング室等運動施設)</p> <p>・キャッシュレスが使えない。</p> <p>・親子で使える更衣室とロッカーを増やしてほしい。</p> <p>・年中無休にしてほしい。</p>	<p>・貸出施設の利用手順として、予約受付後に申請、使用許可書及び納入通知書の発行など、一定の時間を要するため、利用1週間以上前からの予約受付としている。</p> <p>・令和7年度から新券売機で対応可能となっている。</p> <p>・今後、多目的ロッカーの増設を予定している。</p> <p>・参考意見とした。</p>
主な利用者意見(積極的評価)	
<p>(会議室等貸出施設)</p> <p>・1時間単位で借りられるため利用しやすい。</p> <p>・駐車場が広くて停めやすい。</p> <p>・掃除が行き届いていて部屋がきれい。</p> <p>(プール・トレーニング室等運動施設)</p> <p>・初心者から経験者まで、スタッフが丁寧に声を掛けてくれる。</p> <p>・施設が全体的に清潔感がある。</p> <p>・利用料金が大変リーズナブルで利用しやすい。</p>	

## 6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<p>(とちぎ健康づくりセンター)</p> <p>・利用者の体力測定結果をもとに、保健師や健康運動指導士が連携した運動実践メニュー等の作成及びフォローアップによる継続的な健康づくりへの支援を行った。</p> <p>・とちぎ健康の森の敷地内緑地の適正管理や施設設備の維持管理に努め、最新情報やイベント情報発信のLINE公式アカウントの運用等による広報活動の充実を図った。</p> <p>・多様なニーズに対応したミックスレッスンの実施や敷地内のウォーキングコース沿いに健康器具を新設し、利用者サービスの向上を図った。</p> <p>・「とちぎ健康の森本館空調設備改修工事」の実施に伴い、プール・トレーニング室の休館中、空いている場所を利用して、レッスンや施設利用講習会を行った。</p> <p>・事業継続計画(BCP)に基づく非常時、緊急時の職場内の周知徹底を図るための研修をとちぎ生き</p>

<p>がいきなりセンター合同で実施した。  (とちぎ生きがいきなりセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各期の授業アンケートに加え、より良い学生募集や学校運営を行うための入学時・卒業時アンケート調査を実施するとともに、卒業後の活動支援等に役立てるため、卒業生に対する卒業後の活動調査を行った。</li> <li>幅広い世代へのシルバー大学校の認知度向上のため、3校合同授業を公開講座として実施した。</li> <li>シルバー大学校への入学が高齢者の健康状態に与える影響を検証するため、第43期生及び第45期生を対象に健康度調査を実施した。</li> </ul>	
<p>重点取組事項への取組</p>	<p>※指定管理者が独自に設定</p>
<p>(全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>とちぎ健康の森の魅力度アップに向け、敷地内ウォーキングコースに健康器具を新設した。</li> </ul> <p>(とちぎ健康づくりセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の利便性向上を目指し、券売機をキャッシュレス決済機能搭載機器へ更新した。</li> <li>利用者の多様性を考慮し、プール・トレーニング室において誰でも利用可能な更衣室やロッカーを設置した。</li> <li>非常時・緊急時の体制整備に向け研修を実施し、事業継続計画（BCP）の周知徹底を図った。</li> <li>住民が健康づくり事業に取り組む機会を創出するため、とちぎ生きがいきなりセンター県南・県北支所を活用し、レッスン及び健康づくり講座を実施した。</li> <li>利用者が年齢や体力に応じて幅広く参加できる30分程度2種類のレッスンを組み合わせたミックスレッスンを導入した。</li> </ul> <p>(とちぎ生きがいきなりセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学生アンケートの実施により学習効果や満足度の検証を行うとともに、アンケート結果を踏まえた講師選定や学習カリキュラムの見直しを行った。  また、ITリテラシーを学ぶカリキュラムを導入、実施するとともに、SNSによる情報発信やeスポーツの今後のカリキュラムへの導入に向け、調査・調整を行った。</li> <li>学生の卒業後の地域活動への参加や活動分野を広げるための支援として、卒業生が在籍している活動団体や市民活動支援センター等とのマッチングの授業を行った。  また、市町社会福祉協議会、NPO、ボランティア団体等と連携し、学生のボランティア活動への理解を深める機会の提供、ボランティア活動の支援等を行った</li> <li>体調不良や家族の世話等によりどうしても登校することが難しい学生への配慮として、一般科目のみを対象に、Zoomによるオンライン配信を導入し、実際に数件の利用があった。</li> <li>3校合同授業を、一部、新たに公開講座として実施した（令和6（2024）年度は、令和6（2024）年7月及び令和7（2025）年3月の2回）。  また、令和7（2025）年度から新たに体験入学を実施するべく、時期や受入人数等の検討を行った。</li> <li>今後、専門科目を対象に、授業の様子を撮影した動画をインターネットで公開していくため、専門業者への相談、情報収集を行った。</li> <li>入学時と卒業時の健康状態の変化を検証するため、とちぎ健康づくりセンターと連携し、第43期生及び第45期生を対象に健康度調査を実施した。第43期生については、入学時と比較し平均値が向上している種目が見られた。</li> <li>ホームページやX（旧Twitter）を活用し、授業の様子やイベントの告知など積極的な広報活動を行った。  また、シルバー大学校の認知度向上策として、シルバー大学校のオリジナルキャラクターの作成に向けた情報収集を行った。</li> </ul>	
<p>今後改善・工夫したい事項</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>とちぎ健康21プラン（3期計画）と関連した事業の県全域への展開</li> <li>県内で健康づくりの指導的立場を担う者の養成機能の拡充</li> <li>施設・設備の経年劣化に伴う修繕への対応</li> <li>物価高騰や給与改善、施設機器更新等に要する財源確保に向けた施設利用料金の改定</li> </ul>	

## 7 所管課による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見など	評価
1. 住民の 平等利用の 確保	① 住民の平等利用が確保されたか。	とちぎ健康づくりセンターの施設の利用許可は原則申込みの先着順で決定しており、また、とちぎ生きがいきづくりセンターのシルバー大学校の入学希望者が定員を超過した場合には抽選によるなど、公正・公平な方法で平等利用は確保されている。	B
	② 使用許可に関する権限が適正に行使されたか。	条例・規則などに基づき手続が行われており、適正に管理されている。	B
	③ 高齢者、障害者などに対する配慮はなされたか。また、平等利用が確保できない場合の対応は適切か。	(とちぎ健康づくりセンター) 高齢者や障害者の利用に際しては、スタッフによる見守り体制を強化するなど、細やかで適切な配慮がなされている。 (とちぎ生きがいきづくりセンター) 障害者用トイレ、スロープ、エレベーターを設置しており、高齢者、障害者等に配慮した環境が整っている。また、身障者の受入実績があり、平等利用は確保されている。	B
2. 施設の 効用の最大 限発揮	① 施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか。	利用実績やアンケート結果等から、施設の設置目的に沿った業務を堅実に履行している。	B
	② 施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか。	運動施設の混雑状況に関する情報発信や利用促進キャンペーンを実施する等、施設の利用促進やサービス向上に積極的に取り組んでいる。	A
	③ 利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか。	利用者アンケートを実施して、利用者の満足度を把握しており、その結果によると利用者の満足度は高い水準を維持している。	A
	④ 利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか。	利用者アンケートや意見箱等に寄せられた意見・苦情に対して、指定管理者が対応可能な事項は速やかに対策を講じるなど、適切に対応している。	B
	⑤ 施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか。	施設、設備、備品は定期点検を行い、不備があった際は指定管理者の対応範囲内で速やかに修繕するなど、適切な対応に取り組んでいる。	B
	⑥ 指定管理者の創意工夫により業務改善などがなされたか。	(とちぎ健康づくりセンター) ホームページのリニューアル、LINE公式アカウントによる情報発信や運動施設の混雑状況のホームページ等への掲載等、利用者の利便性向上に向けた取組を実施している。 (とちぎ生きがいきづくりセンター) SNSを活用した情報発信や新たな公	B

		開講座の開催など、シルバー大学校の認知度向上に向けた取組を積極的に推進している。	
3. 管理を安定的に行う物的人的基礎	① 組織体制は適正か。	管理運営に必要な人員を適正に配置している。	B
	② 収支は適正でバランスがとれたものか。	指定管理委託料の範囲内で適正かつ適切に運営している。	B
	③ 経費の縮減に取り組まれてきたか。	電気やガスのデマンド監視により最大需要量を抑制するとともに、照明や誘導灯のLED化を推進している。	A
	④ 人材育成は適切に実施されているか。	(とちぎ健康づくりセンター) 職員の資質向上や利用者のサービス向上を図るため、接遇や運動指導技術等の研修やクレーム対応研修などを計画的に実施している。 (とちぎ生きがいづくりセンター) 明るい長寿社会づくり推進機構開催研修に参加し、資質の向上に努めている。また、新任者向けに勉強会を開催し、運営等の円滑化を図っている。	B
	⑤ 危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか。	災害や事故等の危機管理対策としての防災訓練（日中及び夜間）や、館内防犯対策としての不審者対応訓練を実施している。また、事業継続計画（BCP）に基づく非常時、緊急時における職場内の実施体制整備を図るための研修に取り組んでいる。	A
	⑥ 県や関係機関との連携体制は確保されているか。	県及び関係機関を含めた緊急時の連絡体制一覧を作成・共有しており、連絡体制は確保されている。	B
4. 個人情報保護	① 個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか。	「個人情報の保護に関する要綱」及び「特定個人情報の取扱いに関する要綱」を定めて、個人情報の取扱いには十分に配慮し、適正な維持管理に努めている。	B
	② 情報公開は適切になされているか。	「情報公開に関する要綱」を定めているが、当該年度における開示請求はなかった。	B
5. その他	① 施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか。	利用者アンケート等の結果に基づき、指定管理者が対応できる事項は速やかに措置を講じるなど、適正な自己評価がされている。	B
	② 自主事業が計画どおりに実施されているか。	運動用具や会議用物品の貸出し、コピー・FAXサービス、企業・団体と連携した健康づくり講座等は概ね計画どおりに実施している。	B
	③ イベントなどを実施している場合は、地域との連携が図られているか。	(とちぎ健康づくりセンター) 「とちぎ健康づくりDay2024」を開催し、健康づくり体験レッスンや骨密度測定・健康相談など、県民の健康づくりに取り	B

		組んだ。 (とちぎ生きがいづくりセンター) シルバー大学校在校生及び卒業生に加え、地域住民が参加できる高齢者の生きがいづくりに関する自主講座を開催した。	
	④ 環境への配慮(騒音・光害対策、ごみ削減など)がなされているか。	照明の間引き点灯や入居団体と連携した冷暖房の使用減など、省エネルギーに取り組んでいる。	B
	⑤ その他管理運営上の特記事項	キャッシュレス決済機能搭載の券売機を新設した。また、LGBTQ等多様な利用者が利用できるよう、プール・トレーニング室に誰でも利用可能な更衣室やロッカーを設置した。	A
総合的な評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な修繕等を適切に行うなど、施設の安定的な運用に努めており、全般的に管理運営状況は概ね良好であると認められる。</li> <li>・今後とも引き続き、県民の健康づくりの中核的機関としての役割を果たせるよう積極的・効果的な事業展開を図り、市町の健康増進事業(運動関連)の充実強化にも取り組むことを期待する。</li> <li>・また、利用者の講座受講前後の健康状態計測やデータ収集・分析など健康づくりに関する調査研究を積極的に取り組んでほしい。</li> </ul>			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して優れた取組となっている。
- B：事業計画どおりの取組となっている。
- C：事業計画に対して劣る取組となっている。
- D：事業計画に対して著しく劣る取組となっている。